Press Release

FUJILOY 富士ダイス株式会社　証券コード 6167

人と素材と技術の力で
「感動体験」を。

報道関係各位　　2026 年 11 月 10 日

レアメタルを 9 割削減した【サステロイ STN30】の開発が第 42 回 素形材産業技術賞において「経済産業大臣賞」を受賞
～超硬合金と同等の被加工性・耐摩耗性を実現～

超硬合金製耐摩耗工具・金型製造の国内トップシェア、冨士ダイス株式会社の**新材料【サステロイ STN30】の開発が、一般財団法人素形材センター主催の「第 42 回 素形材産業技術賞」において最高栄誉の「経済産業大臣賞」を受賞しました。**

開発技術名「タングステンを 9 割削減したニオブ基新硬質焼結材料の開発」は、耐摩耗性と強度が低いことが課題であり、国内での製品化例がなかったニオブ基材料において、超硬合金に匹敵する耐摩耗性と加工性を両立する材料の開発に成功し、国内で初めて製品化を実現した点が評価されました。なお、当開発については、経済産業省の本館 1 階ロビーにて 2026 年 11 月 10 日から 11 月 27 日まで、本年度の「素形材産業技術賞」受賞の各開発内容・製品展示と共にご覧いただけます。



【11 月 6 日に機械振興会館で行われた表彰式】

「素形材産業技術賞」は、優れた素形材産業技術の開発を通じて、日本の素形材産業の技術水準向上に著しく貢献した技術開発者を表彰する制度です。1985 年の創設以来、毎年、経済産業大臣賞や中小企業庁長官賞をはじめとする各賞が授与されています。なお、本年の表彰式は、11 月 6 日に開催された「第 32 回素形材月間記念式典」にて行われました。

また、表彰式の後には、受賞者によるプレゼンテーションの時間が設けられ、当社からは技術開発本部 材料開発部長 和田 光平より「タングステンを 9 割削減したニオブ基新硬質焼結材料の開発」の開発の目的や開発材の特徴などについて発表を行いました。



【受賞者プレゼンテーションの様子】

Press Release

FUJILLOY 富士ダイス株式会社　証券コード 6167

人と素材と技術の力で
「感動体験」を。



▲レアメタルを９割削減した新材料【サステロイ STN30】の開発

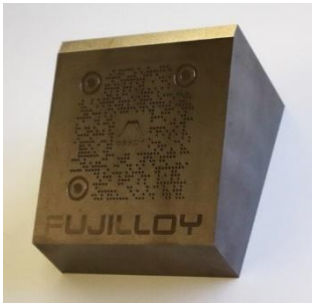
超硬合金は工業用途において幅広く使用されていますが、主要原料であるタングステンおよびコバルトは希少金属（レアメタル）であり、供給先が地域的に偏在しています。なかでもタングステンは中国への依存度が高く、安定調達が大きな課題となっています。

冨士ダイスは、こうした調達リスクの低減を目的として、2023 年よりタングステンおよびコバルトの使用量を大幅に削減した硬質材料の開発に着手しました。

今回受賞した**【サステロイ STN30】は、一般的な超硬合金と比較してタングステンおよびコバルトの使用量を約 90%削減しながら、同等レベルの被加工性と耐摩耗性を実現した新材料**です。

当社では、省タングステン・コバルト合金について、超硬耐摩耗材の代替材としての需要を見込み、ラインアップの拡充を進めております。

レアメタルを 9 割削減した新材種【サステロイ STN30】の特徴



- **W（タングステン）、Co（コバルト）の使用量を 9 割削減**
- **超硬合金より軽量で、鋼と同程度の比重**
- **一般的な超硬合金より高い耐食性**
- **超硬合金に近い耐摩耗性を実現**
- **研削加工性は超硬合金と同等で、放電加工も可能**
- **磁性を有する**

製品の詳細はホームページをご覧ください。
URL：https://www.fujidie.co.jp/products/special

今後も冨士ダイスは、希少資源への依存低減と安定供給に貢献する材料開発を通じて、お客様のものづくりを支えてまいります。

▲冨士ダイス株式会社について

当社は、創業 77 年、超硬合金製耐摩耗工具・金型メーカーです。素材開発力・精密加工技術に強みを持ち、国内のみならず海外 2 か国に生産拠点を展開し、国内トップシェアを誇っています。販売は直販体制を取り、お客様の個別のニーズに応じて、原料粉末の調製から焼結・機械加工・製品検査まで一貫生産体制で、幅広い業種のお客様とお取り引きさせていただいています。詳細はこちら（https://www.fujidie.co.jp/）をご覧ください。

【報道各位からのお問い合わせ先】
冨士ダイス株式会社　企画部
TEL ： 03-3759-7183
E-Mail ： prir.common@fujidie.co.jp